

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【公開番号】特開2008-54722(P2008-54722A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2006-231788(P2006-231788)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 P

A 6 3 F 5/04 5 1 2 S

A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月28日(2009.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機に隣設して設置され、所定枚数の遊技媒体を貸し出す台間遊技媒体貸出機において、

前記台間遊技媒体貸出機は、

前面側を開口し、上方向に差込片を設けた縦長箱状の本体と、

前記本体内部に設けた制御部と、遊技媒体を払出す遊技媒体払出装置と、前記遊技媒体払出装置の払出す前記遊技媒体を貯留する貯留タンクと、を設け、

前記台間遊技媒体貸出機の前面側には、

前記制御部の前面に配した第 1 パネルと、

前記貯留タンクの前面に配し、遊技媒体を補給する際に開閉を行い、一端に嵌込片を設けた第 2 パネルと、

前記遊技媒体払出装置の前面に配し、遊技媒体の供給を行う供給部を設けた第 3 パネルと、
を備え、

前記第 1 パネルは、

前面下端側に前記嵌込片が嵌まり込む嵌込部と、

背面側上端部に前記本体に設けた差込片に差し込む差込部材と、背面側下端部に本体内部の本体部材に当接する弾性部材と、を設け、

前記弾性部材の弾性力による押圧で、前記第 1 パネルの固定保持を行い、

前記第 2 パネルを閉状態することで前記嵌込片が前記第 1 パネルの嵌込部に嵌まり込み、

前記第 1 パネルを固定することを特徴とする台間遊技媒体貸出機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上記目的を達成するために、本発明は、遊技機に隣設して設置され、所定枚数の遊技媒体を貸し出す台間遊技媒体貸出機において、前記台間遊技媒体貸出機は、前面側を開口し、上方向に差込片を設けた縦長箱状の本体と、前記本体内部に設けた制御部と、遊技媒体を払出す遊技媒体払出装置と、前記遊技媒体払出装置の払出す前記遊技媒体を貯留する貯留タンクと、を設け、前記台間遊技媒体貸出機の前面側には、前記制御部の前面に配した第 1 パネルと、前記貯留タンクの前面に配し、遊技媒体を補給する際に開閉を行い、一端に嵌込片を設けた第 2 パネルと、前記遊技媒体払出装置の前面に配し、遊技媒体の供給を行う供給部を設けた第 3 パネルと、を備え、前記第 1 パネルは、前面下端側に前記嵌込片が嵌まり込む嵌込部と、背面側上端部に前記本体に設けた差込片に差し込む差込部材と、背面側下端部に本体内部の本体部材に当接する弾性部材と、を設け、前記弾性部材の弾力性による押圧で、前記第 1 パネルの固定保持を行い、前記第 2 パネルを閉状態することで前記嵌込片が前記第 1 パネルの嵌込部に嵌まり込み、前記第 1 パネルを固定することにより達成される。

【 手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

図 1 は本発明である台間遊技媒体貸出機 1 の外観斜視図を示す図である。

台間遊技媒体貸出機 1 は、前面側を開口した縦長箱状の本体 3 と、前記本体 3 の前面側上部に位置し、前記本体 3 と前面側より取り付け・取り外しできる第 1 パネルとして制御部パネル 5 と、遊技媒体を補給する際に開閉する第 2 パネルとして補給パネル 7 と、前記本体 3 の前面側下部に位置し、前記補給パネル 7 と蝶板にてねじ止され、前記本体 3 と着脱自在の構成となる第 3 パネルとして供給部パネル 9 と、から構成されている。補給パネル 7 には施錠鍵 7 a が設けられ、遊技客が不正に開閉できない構造になっている。供給部パネル 9 には供給部 9 a を配し、所定枚数の遊技媒体を遊技台 1 3 の受け皿 1 3 a に払い出す。補給パネル 7 と供給部パネル 9 は蝶板にてねじ止され一体化されており、供給部パネル 9 を着脱する際、補給パネル 7 も着脱することができる。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

図 3 は制御部パネル 5 の外観斜視図を示す図である。

制御部パネル 5 は樹脂材質（ABS 樹脂、PC 樹脂等）で略長方形状であり、前面側には制御部 3 a に設けられた各種スイッチ、表示部等を突出させる開口部 5 d と、遊技客が媒体を投入する受入口 5 e と、媒体を排出する排出口 5 f と、が設けられている。また、制御部パネル 5 の前面側下部には、嵌込部 5 c が設けられ、補給パネル 7 を閉じた際、前記補給パネル 7 に設けた嵌込片 7 b が嵌まり込む。

【 手続補正 5 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

制御部パネル 5 の背面上端部には差込部材 5 a と、背面下端部には弾性部材 5 b と、が設けられている。差込部材 5 a は、制御部パネル 5 にねじ止され、平面部に長方形の長穴が開口しており、本体 3 に設けた差込片 3 e に差し込むことができる。弾性部材 5 b は、制御部パネル 5 と一体成型され、板形状で背面側へ突出し、その先端は略円弧形状と成る。制御部パネル 5 は樹脂材質なため、制御部パネル 5 の取り付けの際、本体 3 の内部に設けた本体部材 3 f に弾性部材 5 b の略円弧形状が当接すると前記弾性部材 5 b は上方向にたわみを生じ、その弾性力による押圧で制御部パネル 5 は固定保持される。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

- 1 台間遊技媒体貸出機
- 3 本体
- 3 e 差込片
- 3 f 本体部材
- 5 制御部パネル（第 1 パネル）
- 5 a 差込部材
- 5 b 弾性部材
- 5 c 嵌込部
- 7 補給パネル（第 2 パネル）
- 7 a 施錠鍵
- 7 b 嵌込片
- 9 供給部パネル（第 3 パネル）